

地域課題・社会課題の解決に向けた 赤い羽根共同募金の「協働」について

社会福祉法人 中央共同募金会
企画広報部主査 熊谷有祐



- 1 赤い羽根共同募金とは**
- 2 共同募金運動期間拡大で広がる「協働」**
- 3 広島県共同募金会の運動期間拡大事例
「社会課題解決プロジェクト」のご紹介**
- 4 岩手県共同募金会の運動期間拡大トライアル
「3.11福祉活動応援募金」**



1 赤い羽根共同募金とは



1 赤い羽根共同募金とは

●都道府県単位で行われている募金活動です。

- 都道府県単位で「共同募金会」、市区町村単位で「共同募金委員会」があります。
- 市区町村共同募金委員会は、多く社会福祉協議会に事務局があります
- 自治会・町内会単位での「戸別募金」が募金の主流（7割を占める）です



1 赤い羽根共同募金とは

●募金された市区町村で7割、残りのほとんどが県単位
で使われる「じぶんの町を良くするしくみ。」です。

・唯一の例外が、大規模災害の折に県域を越えて
使われる「災害等準備金」です

・赤い羽根共同募金のノウハウを生かし、「ボラサポ」
や災害義援金等でも災害支援を行っています



1 赤い羽根共同募金とは

● **地域福祉活動のための財源です。**

- **都道府県・市区町村の社会福祉協議会が行う活動や、草の根のNPO団体、社会福祉施設なども助成金を受けて活動しています**



1 赤い羽根共同募金とは

●「計画募金」のしくみをとっています。

- ・県内で翌年度に必要なニーズを集積し、目標額をたてて募金活動を行います
- ・適切な「積み上げ」の形になっているかが、今、問われています。



2 共同募金運動期間拡大 で広がる「協働」



2 共同募金運動期間拡大で広がる「協働」

●共同募金運動期間

(毎年10月1日～12月31日)を、モデル的に
3カ月延長して募金運動している県もあります。

・岩手県は25年度から取り組みます



2 共同募金運動期間拡大で広がる「協働」

●共同募金運動期間拡大のねらい

- ・既存の募金活動とは別に、共同募金の「できること」を増やすため、新しい協力関係を作り出し、新しい募金方法をもって、新しい寄付者層に訴えかけます。



2 共同募金運動期間拡大で広がる「協働」

●共同募金運動期間拡大のねらい

・「新しい協力関係」とは

a 共同募金の悩み

…募金の減少傾向／助成のマンネリ化

b 課題解決に取り組む団体の悩み

…事業資金の不足

c 地域の悩み

…これまで考えなかったような課題の増加／災害時の対応

⇒ a、b、cを同じテーブルに載せたら
どんな変化が生まれるか？



3 広島県共同募金会の 運動期間拡大事例



3 広島県共同募金会の運動期間拡大事例

●二つテーマをもった新たな募金活動を展開しています。

(1)社会課題解決プロジェクト

・主にNPOと連携しています

(2)地域テーマ募金

・主に市区町村社会福祉協議会と連携しています
(参考事例)



3 広島県共同募金会の運動期間拡大事例

(1) 社会課題解決プロジェクト

● 広く活動する、NPO団体の課題を前面に打ち出した募金活動

- ・NPO団体ほか応援団による「社会課題解決プロジェクト」を県共同募金会に結成
- ・助成を受けるNPO自身の声で、共同募金を呼びかける活動を実施



3 広島県共同募金会の運動期間拡大事例

(1) 社会課題解決プロジェクト

⇒NPOには、共同募金の名で活動を行うガバナンスの利点、
税制優遇の利点

⇒共同募金には「使われ方に納得して募金いただける」という
利点、NPOのコネクションで募金活動が展開されることで、寄
付者層が広がったという利点

⇒NPO同士のつながりができることで、単体では見えない課題
に協働で立ち向かう体制づくりができたという利点



3 広島県共同募金会の運動期間拡大事例

(1) 社会課題解決プロジェクト



社会課題に立ち向かう団体ごとの郵便振替用紙つきチラシ



3 広島県共同募金会の運動期間拡大事例

(1) 社会課題解決プロジェクト

◎「NPOが共同募金と協働して募金活動することで、社会課題の啓発と解決をめざす」プロジェクト

⇒「社会課題解決プロジェクト」というテーブルを作って、「寄付を通じて自分の意思を社会に反映させるしくみづくり」ができた



3 広島県共同募金会の運動期間拡大事例

(2) 地域テーマ募金(参考)

● 市区町村の「町の困りごと」を解決する活動

- ・ 市区町村社会福祉協議会から「町の困りごと」をテーマとして提出してもらう

⇒ 中山間地対策、いのしし駆除や、学校の文化伝承活動まで

- ・ 県共募のバックアップにより、募金活動を行う

⇒ 従来期間における戸別募金中心の募金とは、呼びかけ先・募金方法とも極力従前と重ならないような工夫をしている



3 広島県共同募金会の運動期間拡大事例

(2)地域テーマ募金(参考)

●江田島市大君地区の取り組み

- ・市町村合併で廃校になる小学校を、「地域の核」として存続させる活動

⇒まちづくり協議会が主になって、常設サロン、よろず相談書、防災拠点など整備したい

- ・まちづくり協議会、自治会、青年団等が協力した募金活動

⇒小学校の同窓会名簿を用いたダイレクトメール作戦



3 広島県共同募金会の運動期間拡大事例

(2)地域テーマ募金(参考)

●江田島市大君地区の取り組み

・結果は…

⇒「町のOB」達からの寄付で、活動に必要な100万円はほとんどまかなえた

◎地域住民が共同募金を用いて、地域課題解決の「輪」を作り出すことに成功した

⇒「じぶんの町を良くするしくみ。」を利用して、地域住民が身近な地域課題の解決をはかるしくみづくりができた



4 岩手県共同募金会の運動期間拡大トライアル 「3.11福祉活動応援募金」



4 岩手県共同募金会運動期間拡大トライアル

●沿岸8市町の共同募金運動

- ・2011年募金活動…7市町で戸別募金が実施できず
- ・「沿岸部を内陸部で支える」という発想

⇒県外の企業・団体にも協力の輪を広げていきたい



4 岩手県の運動期間拡大トライアル「3.11福祉活動応援募金」

●「沿岸部支援プロジェクト会議」を組織

⇒プロジェクト会議を中心にして、募金及び広報、助成までを行う計画

⇒いっしょに汗をかいていただけるメンバー



「沿岸部支援プロジェクト会議」メンバー

☆共同募金委員会関係	沿岸8市町村共同募金委員会(沿岸市町村共同募金委員会)
	盛岡市・北上市共同募金委員会(内陸部共同募金委員会代表)
☆NPO関係	(N)いわて連携復興センター
☆企業連合会・企業関係	岩手県商工会議所連合会・岩手県商工会連合会・ 岩手県中小企業団体中央会
	盛岡ロータリークラブ
	(株)盛岡クラブチェンジ
	いわて三陸復興食堂
	(株)ウィローズ
☆マスコミ関係	エフエム岩手
☆教育関係	岩手県立大学社会福祉学部
	岩手県立大学学生ボランティアセンター
☆行政関係	岩手県保健福祉部
	岩手県社会福祉協議会
☆その他	大阪ボランティア協会・中央共同募金会

4 岩手県の運動期間拡大トライアル「3.11福祉活動応援募金」

●いわて連携復興センターの役割

- ・沿岸部支援でできた関係を生かして、よりよい募金と助成を行うことで、共同募金の「できること」を増やしていきたい
- ・沿岸部で活動するNPOの皆さんに共同募金に積極的に参画(募金・助成)いただくことで、「じぶんの町を良くする」共同募金の可能性を広げていきたい



4 岩手県の運動期間拡大トライアル「3.11福祉活動応援募金」

◎3.11福祉活動応援募金

・「沿岸部支援プロジェクト会議」

⇒共同募金のメインテーマ「じぶんの町を良くするしくみ。」

⇒これまでのしくみ(共同募金と市町村社会福祉協議会)に加えて、

**NPOの皆さんにも加わっていただき、
共同募金の考える「じぶんの町」を広
げたい**



ま と め



◆まとめ

◎共同募金運動期間拡大のねらいと取り組み

○共同募金の運動拡大期間を活用して、既存の募金活動とは別に・・・

- ・新しい協力関係を作り出し
- ・新しい募金方法をもって
- ・新しい寄付者層に訴えかけることにより

新たな課題解決の方法を探るプロジェクトを創ります



◆まとめ

◎社会課題解決プロジェクト(広島県)

- ・県内で「共同募金と協働して募金活動することで社会課題の啓発と解決をめざす」プロジェクトとなった

⇒「社会課題解決プロジェクト」というテーブルを作って、「寄付を通じて自分の意思を社会に反映させるしくみづくりができた



◆まとめ

◎「沿岸部支援プロジェクト会議」 (岩手県)

- ・沿岸部の復興支援に関わりのあるNPO・企業・学校・マスコミ・行政・社協・共同募金会が同じテーブルを囲み、「被災地を支援したい、し続けたい」という市民の声を形にするプロジェクトに育てたい

⇒市民のモチベーションを高めつつ、支援を、沿岸部の復興に繋げていくしくみづくりとしたい



ありがとうございました

